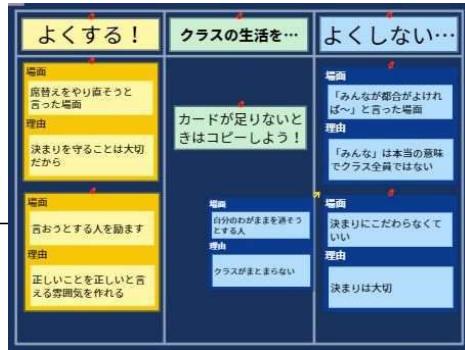


ねらい

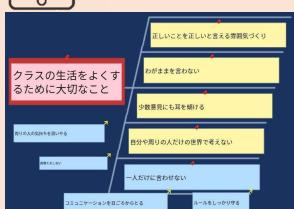
資料を通して、クラスの生活をよくするために必要なことについて考えを深め、公正公平な行動を心がけようとする実践意欲を高める。

タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	<p>1 アンケートに答え、本時の主題をつかみ、めあてを確認する。</p> <p>クラスの生活をよりよくするため大切なことはどんなことだろうか。</p>	 <p>ロイロノートのアンケート機能を活用し、回答を共有する。</p> 
展開	<p>2 クラスの生活をよくしている場面とそうでない場面に線を引きながら資料を読む。</p> <p>○ クラスの生活をよくする場面やフレーズ、そうでない場面やフレーズを理由と合わせて書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> もう一度席替えをやり直そう 問題が起きないよう注意した 無理に変わられた 決まりにこだわらなくてもいい わがままを押し通そうとする <p>3 クラスの生活をよくするために大切なことについて考える。</p> <p>○ クラスの生活をよくするために大切なことはどんなことですか。</p>	 <p>線を引いた場面やフレーズを理由も合わせてカードに書き込み、提出箱に提出する。回答は匿名で共有させ、様々な意見に触れさせる機会にする。</p> 
終末	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>○ 今日の授業を通して考えたことや、これから的生活に生かしていきたいことはどんなことですか。</p>	 <p>アンケート機能を活用して、本時の振り返りを書かせる。回答は匿名で全員が閲覧可能にすることで、他の生徒の想いにも触れさせる。</p>



シンキングツール（くまでチャート）



個人で出した考えとグループで出した考えのカードの色を変えることで、考えの広がりが可視化できる。



ロイロノート（資料箱）



資料箱に作成したシンキングツールや発問カード、プロット図等を入れておくことで、教材の共有ができ、ICTを活用した授業の活性化につながる。

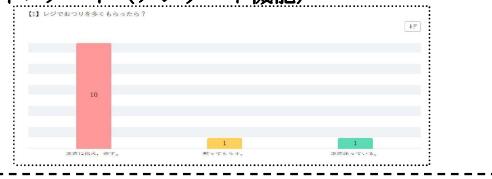
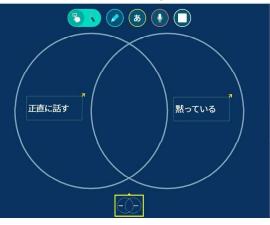
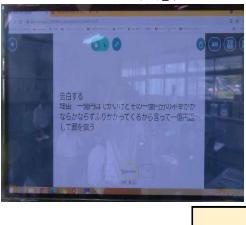
中学校実践例 中2

教材名 「本当の私」
内容項目 よりよく生きる喜び

ねらい

自分が弱い存在だと認識しながらも、正直に生きていくことの大切さを理解し、誇りをもって気高く生きていこうとする心情を育てる。

タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	<p>1 自身の経験を振り返る。 「こんな時どうする？」</p> <p>アンケート内容</p> <p>(1) レジでお釣りを多くもらったら？ (2) テストで間違っているのに○だったら？ 【正直に伝える 黙っておく 迷う】から選択。</p>	 <p>ロイロノートのアンケート機能を使い、集計結果を視覚的に提示する。</p> <p>ロイロノート（アンケート機能）</p> 
展開	<p>2 学習目標を把握する。 『自分自身に正直に生きる』とは？</p> <p>3 教材を読み、内容を整理する。</p> <p>4 エイミーが持つ「複雑な感情」を考える。</p> <p>5 自分がエイミーの立場ならどうするのかを考える。 正直に告白 or 黙っておく</p> <p>6 教科書『自分にとって本当に大切ななもの』が何かを考える。</p> <p>7 「自分に正直に生きる」とはどういうことなのか考える。</p>	<p>「シンキングツール」を使用し、微妙な心情を理解させ、自分の今の意見を意思表示させる。</p> <p>ロイロノート（シンキングツール「ベン図」）</p>   <p>シンキングツールに意思表示をさせ、その理由を提出箱に送らせる。</p> <p>ロイロノート上で提出させ、TV画面上で共有・比較する。 再度自分の意見を意思表示させる。</p> <p>ロイロノート（提出箱）</p>  <p>変容</p>
終末	<p>8 授業を振り返る。 最終的な自分の意見や他人の意見を聞いての振り返りを記入させる。</p>	<p>話し合った後の自分の考えを再度記入させ、提出箱に提出させる。その考えをロイロノートで共有させる。</p>

2 シンキングツール（ベン図）



シンキングツールを使うことによって、YesでもNoでもない微妙で複雑な心情を可視化させることができる。また、そう考えた理由を考えさせるのに適している。




3 ロイロノート（提出箱）



生徒の考えを、視覚的に提示し、簡単に比較することができた。操作方法も難しくはない。



中学校 実践例 中2

教材名 「おおらかな気持ちで」
内容項目 相互理解、寛容

ねらい

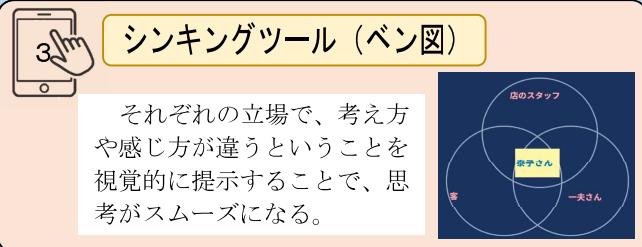
それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていく態度を育てる。

タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	<p>1 自身の経験を振り返る。 「こんな時どう感じる？」</p> <p>アンケート内容</p> <p>1 一緒に活動している友人がモタモタしていたら？</p> <p>2 何度も同じミスをする人がいたら？</p>	 <p>ロイロノートの「アンケート機能」を使用。</p> <p>こんな時どう感じる？</p> <p>?使い方はこちら 全員で回答 編集 結果</p>
展開	<p>2 学習目標を確認する。 「相手を本当に理解するとは？」</p> <p>3 教科書 p. 94「おおらかな気持ちで」の範読を聞く。 p. 95 の 2 行目～p. 96 の 6 行目まで。 全体は朝読書で。</p> <p>4 「注文を間違える料理店」の発案者の意図を考える。</p> <p>5 実際の映像を見る。</p> <p>6 演奏の場にいる人々の感情を想起する。それぞれの立場で想像させる。</p> <p>・感動、頑張って最後まで弾いてほしい。 ・諦めない心に感動した。</p> <p>7 なぜイライラせず、温かい雰囲気なのかを考える。</p> <p>8 自身の生活を振り返る。</p>	 <p>ロイロノートのテキストカードに記入後、提出箱で共有し、多様な意見に触れさせる。</p>  <p>シンキングツールを使い、多角的な視点で演奏の場にいる人々の感情をイメージさせる。個人での入力後、ペアで意見を交換し、一つにまとめさせる。生徒間通信 ON。</p> 
終末	9 授業を振り返る。	 <p>テキストカードに振り返りを記入させ、ロイロノートの提出箱に提出させる。</p>



テキストカードや写真思考ツールを提出させる。
比較・共有させるのに便利。



中学校実践例 中3

教材名「ライバルどうしの友情—スピードスケート 小平奈緒と李相花」
内容項目 友情、信頼

ねらい

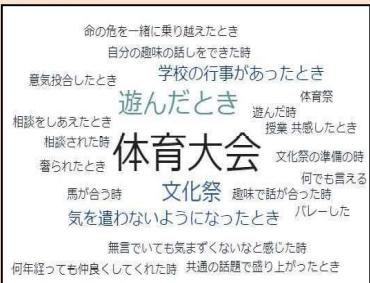
2人の関係性を通して友情と信頼の意義を理解し、友情を深めるために大切なことについて考えることで、よりよい人間関係を築こうとする実践意欲を高める。

タブレットを活用した授業の流れ

	主な学習活動	タブレットの活用場面
導入	<p>1 アンケートに答え、本時の主題をつかみ、めあてを確認する。</p> <p>友情を深めるために大切なことはどんなことだろうか。</p>	 <p>オンライン上のワードクラウド機能を活用して、アンケート結果を可視化する。</p>
展開	<p>2 教材文を読み、2人の選手の関係性について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2人はそれぞれ、お互いのことをどのように思っているのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・互いに尊敬し合っている ・同じ思いを心から共有できる ・認め合う ・信頼している ・負けても納得できる ・同じ目標を持っている <p>3 友情を深めるために大切なことはどんなことが考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) クラゲチャートと共有ノートを活用してグループ内で考えを出し合う。 (2) 提出箱に班のリーダーがクラゲチャートを提出し、全体で考えを共有する。 	 <p>ロイロノートに記入カードを用意しておき、提出させる。提出したカードは匿名で共有し、他の人の意見に触れさせる。</p>
終末	<p>4 今日の授業の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の授業を通して考えたことや、これから的生活に生かしていくべきことはどんなことですか。 	<p>クラゲチャートを活用し、友情が深まる要因について多面的・多角的に考える。また、共有ノートを活用することでグループ内の意見を共有する。</p>
		 <p>アンケート機能を活用して、本時の振り返りを書かせる。回答は匿名で全員が閲覧可能にすることで、他の生徒の想いにも触れさせる。</p>



ワードクラウド



ワードクラウドを活用することで、アンケートの回答が可視化でき、共有しやすい。同じ回答は強調されるため、主題への焦点化へとつなげやすい。



ロイロノート(共有ノート)



教師の指定した生徒が共通で使うことのできるノート。書き込んだことがリアルタイムで更新されていくため、より活発な議論につながる。